

厚生

審査の主なもの

- 八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
- 八女市介護保険条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
- 平成29年度八女市一般会計補正予算（第7号）（全員賛成で可決）
- 平成29年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第3号）（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市一般会計予算（賛成多数で可決）
- 平成30年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市介護保険事業費特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市後期高齢者医療特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市矢部診療所特別会計予算（全員賛成で可決）

問 政令指定都市の福岡・北九州市も同じ改正か。

答 県内全ての市町村が加入し、県との共同運営になる。

第7期八女市介護保険事業計画を策定

問 計画では保険料が増えて年金生活者には厳しい。実態に伴った計画にすべきである。

答 地域包括ケアシステム

国民健康保険事業が市と県の共同運営に

問 構築にあたり、他部署との連携、支所及び地域との情報交換を図って取り組む。

問 これ以上給付費が増えればサービスの見直しなどが発生するの。

答 自立した生活に向けて介護予防事業に取り組む。

問 高齢者世帯の緊急通報システムが消防方式からコールセンター方式へ

問 利用料が発生するため継続されない方がいる。対策はどのようするか。

答 移行前の利用世帯315世帯の内120世帯が移行を希望されなかった。今後、民生委員にシステムの内容理解と周知をお願いし高齢者世帯の安心につなげたい。



緊急通報機器

システム移行によりこれまでの緊急のみの対応に加え、相談機能、安否確認、簡単な生活支援など内容を拡充している。

総務文教

審査の主なもの

- 平成29年度八女市一般会計補正予算（第7号）（全員賛成で可決）
 - ・移動図書館車整備事業 1075万円
- 平成30年度八女市一般会計予算（賛成多数で可決）
 - ・庁舎建設基本計画策定業務委託料 2220万円
 - ・高齢者運転免許証自主返納支援事業 550万円
 - ・伝統的建造物群保存修理事業 7540万円
 - ・八女東部スポーツ公園施設整備事業 5060万円

本庁舎建設に向けて

問 庁舎建設に向けた市民懇談会の内容と規模は。

答 基本計画を策定するにあたり、市民の意見を反映し、新庁舎に必要な機能などを具体化することが重要であるため、外部の方を委員に入れて懇談会を開催する予定。15名程度を予算化している。

問 庁舎建設基本計画の内容について。

答 基本計画策定業務を委託するが2つの委託業務がある。1つ目は現庁舎の現状と課題を専門的な見地から整理すること等。もう1つは執務環境の調査分析である。

問 高齢者運転免許証自主返納支援事業について

答 支援事業の内容は。対象者は70歳以上の自主返納者に対して予約

問 八女東部スポーツ公園施設整備事業について

答 照明を整備するの



八女市役所本庁舎

の整備で照明は考えていない。

建設経済

審査の主なもの

○平成29年度八女市一般会計補正予算(第7号)	(全員賛成で可決)
○平成30年度八女市一般会計予算	(全員賛成で可決)
・若者の農業・農村参入及び定着促進事業費補助金	396万円
・バイオマス事業費	2651万円
・観光費	4億4647万円
・公園費	1億 640万円
・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画検討業務委託料	1400万円

中学生の通院医療費の一部助成へ

問 10月からとしているが理由は。

答 条例の改正、システム改修、国保連合会や支払基金との調整期間が必要である。

健康ポイント事業始まる

問 どのような内容か。

答 40歳以上の市民を対象に、特定健診や特定保健指導並びにがん検診などを積極的に受診してもらうための周知方法は。

らうため、またスポーツ・健康づくり・介護予防などの教室や講座に親しみ、健康への関心を高めてもらうために実施する。

仕組みとして、特定健診の受診を必須にして、がん検診(項目ごと)や健康教室・保健指導などに参加された方にポイントを貯めていただき、3千円分の利用券と交換する。

問 関心を持ってもらうための周知方法は。

答 市内で行われるマラソン大会等でポイントを獲得できる仕組みづくりを検討する。チャレンジデーやスポーツ・健康づくりフェスタ、ガイドブック等を利用して周知に努める。

問 年度内にポイントを達成しなかった場合の取り扱い。

答 次年度にポイントは繰り越しできない。

若者の農業・農村参入及び定着促進事業について

問 事業の内容は。

答 新規就農者に対して県が行うソフト事業である。育成指導員の配置、担い手育成総合支援協議会への支援など新規就農者の確保に関する事業を行っている。

木質バイオマス発電事業について

問 進捗状況は。

答 事業の候補地を選定中である。平成32年10月か

健診は健康づくりの第一歩



特定健診受診風景

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について

問 計画範囲と期間は。

答 旧八女市、立花町、黒木町の都市計画区域に対してのマスタープランである。立地適正化計画は、八女市全体についての計画で、平成30年から3年間の予定である。

問 庁舎建設との関係は。

答 立地適正化計画の中で検討し、横の連携を図りながら計画に盛り込んでいくという形になる。

問 事業の内容は。

答 新規就農者に対して県が行うソフト事業である。育成指導員の配置、担い手育成総合支援協議会への支援など新規就農者の確保に関する事業を行っている。

問 公園整備について調査や計画は。

答 八女津媛神社のトイレと駐車場の計画設計。飛形山の上の公園と立花地区内の各施設の間を回遊できる構想を策定する。宮野公園のバリアフリー対策工事を予定している。



バリアフリー対策工事予定の宮野公園